

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ お客様事例  
ペーパーレス会議システム「WebコアConference」

富士通株式会社 特機システム事業本部様

## タブレット端末を利用し、会議から紙の資料を排除 情報セキュリティの強化とコスト削減／業務効率化を実現！

機密情報の社外持ち出しをなくし、リスクを軽減。  
ペーパーレス会議を導入し、用紙代や資料廃棄にかかる経費の削減とあわせて  
会議準備の労力を削減し、業務効率化を実現しました。

### 導入背景

- 会議で使用する紙資料の取扱いに細心の注意が必要
- 80名を越す大会議では、用紙代や会議の準備にかかるコストが大きい
- お客様への商談に活用できる新たなソリューションを発掘したい

### 導入効果

- ペーパーレスのため情報が外に出る心配がなく、さらなるセキュリティ強化を実現
- コピー不要で会議の準備時間を約1/3に短縮し、業務を効率化。用紙代や廃棄費用などのコストも大幅に削減
- 最新ツールであるタブレット端末を活用したわかりやすいソリューションをお客様に提供

### 課題は、 80名で実施する定例会議での 情報セキュリティ強化とコスト削減

富士通株式会社 特機システム事業本部（以下、特機システム事業本部）は、主に防衛省様向けのシステム開発を行っており、約570名の従業員が在籍しています。毎月、約80名が参加する大規模な本部会議が開催されており、配付資料のコピー／廃棄などのコストや準備にかかる人件費などのコスト削減と業務効率化が課題となっていました。また、セキュリティ面においても、厳密なガイドラインに基づき運用されていますが、

紙媒体を使用することによる情報漏えいリスクを完全に排除することは困難であり、さらなる強化が急務となっていました。

そこで導入したのが、富士通SSLが提供するペーパーレス会議システム「WebコアConference」です。その経緯について、特機システム事業本部 本部長代理 小島健男氏はこう語ります。

「本部会議には関係会社の社長をはじめ、各地の拠点から約80名の参加者が集まります。資料を持ち帰ることにより機密情報が社外に出るリスクが伴うのなら、資料は配付せずデータを集中管理するべきだと考えたのです。

会議をペーパーレスにすれば、セキュリティの強化だけでなく、コピー／廃棄費用と、準備のコストも削減できます。数あるペーパー

レス会議システムのなかで「WebコアConference」を選んだのは、タブレット端末が使えること、台数が多くても導入可能なことが決め手でした。



富士通株式会社  
特機システム事業本部  
本部長代理 小島健男氏



とは言え、80台のタブレット端末をスムーズに同期できるのか一抹の不安もありましたが、トライアルを実施したところ問題なく動作し、検討開始からわずか1ヶ月での導入を実現しました。これだけ短期で導入できたのは、インストールが容易なことに加え、富士通SSLが当本部の要望に対し、迅速かつ柔軟に対応してくれたことも大きく影響しています。導入後、本部会議を3回開催しましたが、わかりやすいインターフェースで操作も容易なため、参加者は比較的慣れが早く、スムーズに運用できています。」

### 前日の資料準備の時間を約1/3に削減

「WebコアConference」の導入により、本部会議のコスト削減はどの程度実現したのか、本部会議の準備を担当する事業推進統括部管理部 佐藤恵子氏は、こう語ります。

「これまで60ページ近い資料を80名分用意するのに2~3時間かかっていました。



富士通株式会社  
特機システム事業本部  
事業推進統括部 管理部  
佐藤恵子氏

長時間1台のコピー機を占有するわけにもいかず、いろいろな階へ移動していたので前日の準備は本当に大変でしたが、「WebコアConference」

を利用するようになり、準備にかかる時間は1時間に短縮されました。サーバ登録する前に資料をPDF形式に変換しておくのですが、他の作業と並行して行えるので、時間が有効に使えます。気持ちにも余裕ができ、資料の締切を延長してほしいなどの依頼にも、柔軟な対応ができるようになりました。」

### 社内各種会議に加え お客様先での会議など 活用シーンが拡大

「WebコアConference」の導入から3ヶ月が経過し、本部会議以外のさまざまな会議でも活用が広がっています。その一つとして、お客様との会議に活用しているICTシステム事業部第四システム部 部長 細田幹雄氏は、

「技術審査会では、1万ページ以上の資料に対し、1回の会議で約80万円のコピー代がかかることもありましたが、「WebコアConference」を使うようになって、紙代はゼロ、準備はわずか2時間で済むようになりました。現在は、プロジェクトで実施する少人数の勉強会でも活用しています。

さらに最近では、お客様先で実施する会議にも積極的にタブレット端末を持参しています。データはサーバにあるので紙を持ち歩くのに比べ、はるかに情報漏えいのリスクを回避できます。お客様も興味をもって使ってくださいませね。」と語っています。

この点について小島氏が続けます。「もともとお客様にご紹介するソリューションとしての活用も視野に入れていたのですが、その点でも好感触です。最新ツールであるタブレット端末を使っているのも、ICT化が進む防衛省様にもご紹介できると考えています。」



富士通株式会社  
特機システム事業本部  
ICTシステム事業部 第四システム部  
部長 細田幹雄氏

### 今後の展開

「WebコアConference」は、複数拠点(セグメント)間会議でも資料のスムーズなページ同期やポイント同期が可能な、多地点間同期オプションを提供しています。現在、本部会議では、遠隔地の参加者には紙の資料を配付し、テレビ会議システムを併用しているため、今後、同オプションを導入し遠隔拠点も含めたペーパーレス会議を実現する計画です。

また、事業本部内での各種会議での利活用を促進し、さらなる作業の効率化および経費削減を促進していく考えです。

富士通SSLは、タイムリーな提案と迅速な対応で、特機システム事業本部を支援していきます。

#### 会社概要

富士通株式会社 特機システム事業本部

所在地: 〒102-0076

東京都千代田区五番町1-1 野村不動産市ヶ谷ビル

事業内容: 主に防衛省様向けのシステム開発、装備品開発

ホームページ: <http://jp.fujitsu.com/> (富士通株式会社公開Webサイト)

※記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。  
※記載の内容は、2012年11月現在のものです。  
※記載された情報は、予告なく変更することがあります。

製品紹介ページ

<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/software/applications/communication/webcore-conference/>

#### 特機システム事業本部 システム構成



#### お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ(富士通SSL)

お問い合わせ総合窓口

E-mail: [ssl-info@cs.jp.fujitsu.com](mailto:ssl-info@cs.jp.fujitsu.com)

〒211-0063 川崎市中原区小杉町1 - 403 武蔵小杉タワープレイス

<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>